

坂町立横浜小学校 学校教育目標
心豊かに たくましく 自立する 横浜っ子の育成

学校図書館教育における重点目標

- 読書センターとして・・・読む楽しさを味わい、進んで本に親しむ子を育てる。
- 学習・情報センターとして・・・情報活用能力を育成し、自ら課題を解決する力を育てる。
図書や資料に関心を持ち、積極的に活用できる環境作りに努める。



「読みたい本」が手に届くところにある環境づくり(本に出会う)

坂町立図書館から毎月 100 冊程度、本を借りて、新刊本を読みたいときに読みたいだけ読む。



子ども司書が、本を選定したり、クラスの児童に聞いた読みたい本リストから本を借りたりする(月に1回程度)

教室内の「坂町立図書館の本コーナー」から新刊本を借りて読む児童【朝読の様子】



図書委員・子ども司書・坂町立図書館司書による「読みたいくなる」しかけづくり



読んだ本の写真と一緒に紹介しよう。

クイズの答えは、どこにあるのかな？

坂町立図書館司書による読み聞かせ・ブックトーク・おすすめの本の紹介(月に1回)

子ども司書による読み聞かせの本の紹介・掲示

図書委員による図書館祭り【絵本から出題コーナー】



図書委員・子ども司書・学校全体による読書推進活動

- ・子ども読書の日(4月23日)、古典の日(11月1日)に読み聞かせ週間の実施
- ・昼の放送等で、「新刊本・おすすめの本」の紹介
- ・秋の図書館祭り(POPの掲示・絵本クイズ・0~9類ビンゴ・スタンプラリーなど)
- ・夏休みや冬休みにおける家庭での読書推進を目的とした全校朝会での発表
- ・「読書貯金通帳」を作成し、冬休み前からの1ヶ月を読書月間に設定
通帳がいっぱいになった児童には、「認定証」とともに、手作りのしおりをプレゼント



読書意欲を持続させる取り組み（本に親しむ）



一過性ではなく、読書意欲の持続性を図り、全校児童の読書習慣の形成へ



子ども司書による全校朝会での発表（読み聞かせ）



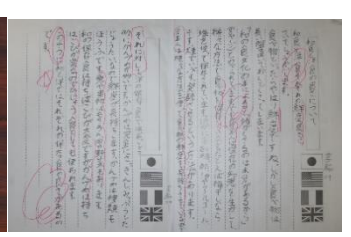
好きな本を選んで、20冊読み、通帳がいっぱいになったら「認定証」贈呈！冊目が終わったら、2冊目・・・と、量だけでなく、読書の幅の広がりも！！



児童にとって、居心地が良く、好きな本に出合える場となるように、学校図書館資料の廃棄・更新を行った。書架の見出しを設置・季節や学習内容に応じた掲示・展示のコーナー設置により、足を運びたくなる学校図書館へ。

目的に応じて読む・多様な価値観に触れる（本から学び、考えを深める）

学年	教科	単元	活用する図書
1年	国語	「こんな本もいっしょに」	『くらしの中の絵とブック』
2年	国語	「こんな本もいっしょに」	『くらしの中の絵とブック』
3年	国語	「こんな本もいっしょに」	『くらしの中の絵とブック』
4年	国語	「こんな本もいっしょに」	『くらしの中の絵とブック』
5年	国語	「こんな本もいっしょに」	『くらしの中の絵とブック』
6年	国語	「こんな本もいっしょに」	『くらしの中の絵とブック』



学校図書館を活用した年間指導計画に沿って、国語科では、「こんな本もいっしょに」に掲載されている本や文学作品などを中心に、理科・社会科など他教科でも、図書館資料を活用した学習を行い、考えを深めることができた。

学校・家庭・地域で育む読書活動



図書ボランティアによる読み聞かせ（月に2回）



子ども司書養成講座実地研修（坂町立図書館）



子ども読書の日との関連を図った坂町立図書館主催の【図書館祭り】毎年多くの児童が参加